

移住、定住、交流のまちづくり

交流・移住の推進

人口減少社会の中であっても、活気ある地域を継続するため、移住・定住者に向けた支援や、新たな産業の創出に向けた、様々な取り組みを展開しています。

(市の移住・定住関連施策による移住者数…累計336世帯・548人※平成21年度～平成30年度実績)

「郡上・ふるさと定住機構」の取り組み

交流・移住の推進による地域活性化を目指し、官民協働で設立した「郡上市交流・移住推進協議会」が、「一般社団法人郡上・ふるさと定住機構」として新たに活動しています。

地域コミュニティの活力が低下する中で、地域の担い手となる都市住民の移住促進を市と協働で実施しています。(移住相談、空き家相談等)

郡上市の「暮らし方」だけでなく、「働き方」についてもしっかりイメージができるよう、市内企業や団体との連携をこれまで以上に密にしながら、Uターン者等の増加に努めています。



郡上カンパニープロジェクトの推進

平成29年度から、移住促進と新規雇用の創出をセットとした「郡上カンパニープロジェクト」が新たに始まりました。郡上カンパニーは、郡上の資源を活用した仕事づくりを進めるため、事業期間として設定した3年以内の起業と、2人以上の雇用創出を目標として事業展開を図っています。

令和元年8月現在、郡上カンパニーに関連して、20組32人が郡上市へ移住しました。また、ワークショップに参加した都市部住民が継続的に地域の活動等に関わるなど、関係人口の増加にもつながっています。

郡上カンパニーでは、「(仮称)郡上チャレンジ応援団」の構築や、商工会、産業支援センター等との連携強化、今後の郡上市の担い手を育成する仕組みづくりを目指します。



郡上市へ移住・定住する人への支援

市内で新たに三世同居や近居を始められる人、Uターンにより郡上市に移住され市外の職場へ通勤される人などへの支援を行うほか、移住のために供される空き家の改修等への支援など、移住を希望される人が活用しやすい制度の整備、推進に取り組んでいます。引き続き、Uターン増加に向けた支援を進めるとともに、地域おこし協力隊の制度活用を継続するなど、移住定住の促進を図ります。

大都市ネットワークの活用推進

首都圏における郡上市のネットワークづくりを行うとともに、友好交流都市である港区を中心に自治体間連携の強化を図っています。

「郡上ブランド」の認知度を上げ、シティセールスとしての効果を高めるため、平成29年度から「郡上藩江戸蔵屋敷」事業を実施しています。

参加者の満足度は非常に高く、関係人口・交流人口の増加につながっています。

郡上藩江戸蔵屋敷をシティセールスの柱に位置付け、首都圏における「郡上ブランド」の認知度向上と、郡上の魅力を自ら発信することにより熱い郡上ファンづくりに取り組んでいきます。

また、郡上藩江戸蔵屋敷を含むシティセールスの展開について、民間が主体となった運営手法を検討していきます。



都市交流の推進

合併前からの市民間交流が東京都港区や三重県志摩市等、自治体間の交流へと発展しました。都市交流に関する協定や災害時相互応援協定の締結により、災害時における相互応援や郡上の特産品の販路拡大などへつながっています。

平成23年の東日本大震災の際、東京都港区に対し乳幼児用の水の緊急支援を行いました。(給水タンクの搬送、ペットボトル500ml×7,200本の提供)これを契機に、平成30年からは港区の防災備蓄水として郡上の水が納入されています。

観光目的に留まらない、地域とのつながりを求める都市部の住民が多くなっていることから、今後も友好都市等との交流を進めることにより、郡上ファン(関係人口)の増加に取り組めます。



- | | |
|---------|-----------|
| 友好交流都市 | 災害時相互応援都市 |
| ・東京都港区 | ・福井県大野市 |
| ・三重県志摩市 | ・兵庫県丹波篠山市 |
| ・石川県七尾市 | ・三重県志摩市 |
| | ・東京都港区 |